

# ORC レーティングルール2011年の変更点



2011/02/12

## ORC レーティングルール2011年の変更点

2011年度はさほど大きな変更はありませんでした。

International Measurement System(IMS)の変更点と ORC Rating System の変更点を合わせてレポートします。

1. ウォーターバラストの計測方法に変更ができました。

IMS E5.1 **WBV**は片側に積込めるウォーターバラストの最大容積で、リッター(ガロン in imperial units) で計測する。これはE5.2に規定している傾斜試験をおこなわず、E3 規定しているフリーボード計測もおこなわなかった場合にのみ記録する。

2. クルー(乗員)がシェアーラインを超えてクルーポジションを移動することに対する規定が新設されました。

この項は ORC Sportboats に適用され、ORC Green Book の ORC Classes の中に記載されている。

ORC 102.3 IMS シェアーラインを超えてクルーポジションを移動できる場合には ORC Sportboat Class rule 4(c)に記載される CEXT (Crew Extension) 係数として評価される。

3. バウスプリットがセンターラインから横に動く場合の規定ができました。

IMS F7.3 もしバウスプリットがセンターラインから横に動く場合、これを“YES”または“NO”で記録をする。

ORC 108.6 もし **TPS** が計測され、バウスプリットが IMS F7.3 によりセンターラインより横に動かせると記録されている場合、これを VPP は SPL = TPS のスピンプールがあると判断する。

4. メインファーラーの有無を記録するようになりました。

F9.8 c) **Mainsail furler**. メインファーラーがある場合、それを“YES” または “NO”で記録する。

5. ジェノアフアーラーの判断基準が変更になった。

IMS F9.9 ジェノアフアーラーがある場合、それを“YES” または “NO”で記録する。

ORC 111.3 a) 1枚のヘッドセールのみでジェノアフアーラーが使われている場合。ただし **LPG** > 110% J のみ。

ORC 206.1 b) もしジェノアジブがジブファーラーと、111.3 の規定に従って申告されている場合は、レース中は1枚のジェノアジブしか搭載してはならない。そのジェノア面積は証書に記載される最大面積のジェノアの95%以下であってはならない。

6. スタンディングリギンの断面形について申告項目ができました。(例えば流線型断面にしたケースを判断)

IMS F9.10 スタンディングリギンに円形断面でないものがある場合、それを“YES” または “NO”で記録する。

7. メインセールガースのデフォルト値が変更されました。

ORC 109.1 Main sail もし、Mainsail の幅が計測されていない場合は、次のようにする：

$$HB = 0.05 * E$$

$$MGT = 0.25 * E$$

$$MGU = 0.41 * E$$

$$MGM = 0.66 * E$$

$$MGL = 0.85 * E$$

8. ジブセール(及びジェノア)のルール文章が変わりました。

ORC 111.1 Jib/Genoa の計測面積は、次のように計算される:

$$Area = 0.1125 \cdot JL \cdot (1.445 \cdot LPG + 2 \cdot JGL + 2 \cdot JGM + 1.5 \cdot JGU + JGT + 0.5 \cdot JH)$$

そして、Jib/Genoa の Rated 面積は Sail Inventory の中の最大計測面積を採用する、ただし以下の計算値を下限とする。

$$0.405 \cdot J \cdot \sqrt{IM^2 + J^2}$$

(計算式及び下限値の計算式に変更はない)

9. スピンナーカー、Cord 0 のデフォルト値や下限値が変更された。

ORC 113.1 Symmetric Spinnaker の計測面積は、次のように計算される:

$$Area = \frac{SL \cdot (SF + 4 \cdot SMG)}{6} \quad (\text{計算式の変更はない})$$

Symmetric Spinnaker の評価面積(Rated Area)は Sail インベントリーに記載されるすべての Symmetric Spinnaker の計測面積の最大値を使うこととする、ただし評価面積は以下の計算値を下限とする。

$$1.14 \cdot \sqrt{ISP^2 + J^2} \cdot \max(SPL; J) \quad (\text{計算式は新登場})$$

ORC 113.2 もし、SL、SMG もしくは SF が計測されていない場合は、次のように計算する。(デフォルト値)

$$SL = 0.95 \cdot \sqrt{ISP^2 + J^2}$$

$$SF = 1.8 \cdot \max(SPL; J)$$

$$SMG = 1.8 \max(SPL; J) \quad (\text{SMG デフォルト値は考え方が変更されて、計算式が新登場})$$

SPL が計測されていない場合は、 $J$  とする

ORC 113.3 Spinnaker を積んでいない場合、その艇の最大のジブ/ジェノア面積の 1.035 倍の面積を持つ

Asymmetric Spinnaker を艇の  $SPL = J$  のポールに展開するように評価されるとする。(新しい判断基準)

ORC 114.2 Asymmetric Spinnaker と Code 0 の計測面積は、次のように計算される:

$$Area = \frac{ASL \cdot (ASF + 4 \cdot AMG)}{6} \quad (\text{計算式の変更はない})$$

Asymmetric Spinnaker の評価面積(Rated Area)は Sail インベントリーに記載されるすべての Asymmetric Spinnaker の計測面積のうち最大値を使うこととする、ただし評価面積は以下の計算値を下限とする。

$$0.6333 \cdot \sqrt{ISP^2 + J^2} \cdot \max(1.8 \cdot SPL; 1.8 \cdot J; 1.6 \cdot TPS) \quad (\text{計算式は新登場})$$

Code 0 の評価面積(Rated Area)は Sail インベントリーに記載されるすべての Code 0 の計測面積のうち最大値を使うこととする、ただし評価面積の最小制限値を以下のようにする。

$$0.8106 \cdot \sqrt{ISP^2 + J^2} \cdot TPS \quad (\text{計算式は新登場})$$

ORC 114. 3 もし、ASL、AMG または ASF が計測されていない場合は、

$$ASL = 0.95 \cdot \sqrt{ISP^2 + J^2}$$

$$ASF = \max(1.8 \cdot SPL; 1.8 \cdot J; 1.6 \cdot TPS)$$

$AMG = \max(1.8 \cdot SPL; 1.8 \cdot J; 1.6 \cdot TPS)$  .....(2010ルールでは文章で書かれていた)

$ASF = 1.6 \cdot TPS$  - for Code 0

$AMG = 1.6 \cdot TPS$  - for Code 0 .....(変更になった)

TPS が計測されていない場合は、 $ASF$  とする。

(ORC 114.5 削除)

10. オーナーの責任 (Owner's Responsibility) に変更がありました。

ORC 304.1 オーナーもしくはオーナー代理は以下の項目について責任を持つ：

c) 艇が証書に記載される全ての計測データに準拠していることを確認する責任がある。

1) すべての計測値、申告値、もしくは記載された値は証書の数値に限りなく近い数値でなければならない。

差を認められるのは証書に記載される数値が不利なレーティングに働く場合のみである(低い GPH 数値)

2) セイルに関しては各セイル面積が証書に記載された面積以下であること

3) 実際のクルー重量に関しては証書の遵守事項ではないが、レースへ参加する場合は規定200が適用される。

(表記のスタイルが変わったことに加え、クルー重量の記述は追加された)

11. クルーザー/レーサー レギュレーションに変更がありました。

IMS Appendix 1 CRUISER/RACER REGULATIONS PART 2

トイレの出入り口にリジッドなドアが必要になった。

201 Accommodation Area. 艇の内装は次のものを含まねばならない: テーブルとセッティ (settee/背当て付き長椅子) のある居住区、就寝区域、ギャレー区域、ナビゲーション区画、そしてリジッドな扉を通して出入りする独立区画のトイレット/洗面台、居住区と就寝区域はリジッドなバルクヘッドか間仕切りで区切られていること。